

令和7年試験

論文式試験問題

経済学

注意事項

1 受験上の注意事項

- ・試験官からの注意事項の聞き漏らし／受験案内や試験室及び受験票その他に記載・掲示された注意事項の未確認等，これらを原因とした試験における不利益は自己責任になります。
- ・携帯電話等の通信機器や携行品の取扱いについては，試験官の指示に従ってください。
- ・試験開始の合図があるまで，配付物や筆記用具に触れないでください。
- ・問題に関する質問には，応じません。

2 不正受験や迷惑行為の禁止

- ・不正行為を行った場合／試験官の指示に従わない場合／周囲に迷惑をかける等，適正な試験実施に支障を来す行為を行った場合，直ちに退室を命ずることがあります。

3 試験問題

- ・試験開始の合図後，直ちに頁数(全6頁)を調べ，不備等があれば黙って挙手し，試験官に申し出てください。

4 答案用紙

- ・問題冊子の中ほどに挿入してあります。
- ・試験開始の合図後，直ちに頁数(全4頁)を調べ，不備等があれば黙って挙手し，試験官に申し出てください。
- ・答案作成に当たっては，ボールペン又は万年筆(いずれも黒インクに限る。消しゴム等でインクが消えるボールペンは不可。)及び修正液又は修正テープ(白色に限る。)を使用してください。これらのもの以外を使用した場合／答案用紙に記入した文字(数字を含む。)の判読が困難な場合，採点されないことがあります。
- ・答案用紙の左上をホッチキス留めしてあります。ホッチキス留めを外した場合は，採点されないことがあります。

5 受験番号シールの貼付

- ・配付後，目視で受験番号及び氏名を確認し，不備等があれば黙って挙手し，試験官に申し出てください。
- ・試験開始の合図後，各答案用紙の右上の所定欄へ全頁に貼付してください。

6 試験終了後

- ・試験終了の合図後，直ちに筆記用具を置き，答案用紙は裏返して通路側に置いてください。
 - ・試験官が答案用紙を集め終わり指示するまで，絶対に席を立たないでください。
 - ・答案用紙が試験官に回収されずに手元に残っていた場合は，直ちに挙手し，試験官に申し出てください。
- 試験官に回収されない場合，いかなる理由があっても答案は採点されません。

7 試験問題(該当ある科目は法令基準等)の持ち帰り

- ・試験終了後，持ち帰ることができます。
- なお，中途退室する場合には，持ち出しは認めません。必要な場合は，各自の席に置いておきますので，試験終了後，速やかに取りに来てください。

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和7年論文式経済学

(経 済 学)

(満点 100 点) $\left\{ \begin{array}{l} \text{第2問とあわせ} \\ \text{時 間 2時間} \end{array} \right\}$

第 1 問 (50 点)

問題 1 A, B の 2 人の消費者と, 私的財 X と公共財 Y の 2 財からなる経済を考える。各消費者の私的財消費量をそれぞれ x_A, x_B , 公共財の消費量を y とする。また, 各消費者は, 初期保有として私的財を 4 単位ずつ保有している。したがって, 合計 8 単位が経済全体の私的財の初期賦存量である。公共財はもともと経済には存在せず, 政府が公共財 1 単位を生産するには 2 単位の私的財が必要であるとする。

各消費者の効用 u_A, u_B は,

$$u_A = x_A + a\sqrt{y}$$

$$u_B = x_B + b\sqrt{y}$$

と表される (a, b は正の定数)。次の **問 1** ~ **問 7** に答えなさい。

問 1 このモデルにおける公共財の最適供給条件(サミュエルソン条件)を解答欄に記入しなさい。

問 2 $a = 2, b = 4$ とする。このとき, 公共財の最適供給量 y^* はいくつになるか, 答えなさい。

問 3 **問 2** と同様, $a = 2, b = 4$ とする。私的財の価格を 1 とする。政府は公共財を 1 単位生産するごとに各消費者にそれぞれ t_A, t_B の負担額(リンダール価格)を課すこととした。各消費者の公共財に対する需要関数 $y_A(t_A), y_B(t_B)$ を求めなさい。

問 4 **問 3** のもとでのリンダール均衡におけるリンダール価格 t_A^*, t_B^* を答えなさい。

問 5 **問 4** のもとでの各消費者の私的財需要量 x_A^*, x_B^* と, 消費者 B の効用水準 u_B^* を答えなさい。

問 6 今度は $b = 3$ とおき, ほかは **問 3** の設定と同じとする。リンダール均衡におけるリンダール価格 t_A^{**}, t_B^{**} と, そのときの公共財供給量 y^{**} , 消費者 B の私的財需要量 x_B^{**} を答えなさい。

問 7 政府には各消費者の真の公共財需要関数が分からず, それぞれが申告した公共財需要関数に基づいて公共財の供給量を決定すると仮定する。**問 3** ~ **問 6** の結果を踏まえ, リンダール均衡によって公共財の最適供給を実行することが困難であることを説明しなさい。

令和 7 年論文式経済学

令和7年論文式経済学

問題 2 ある独占企業は、異なる需要曲線で表される2つのグループの消費者に直面しており、それぞれのグループをグループ A, B と名付ける。それぞれのグループの逆需要関数は異なり、

$$\text{グループ A : } P_A = 200 - 4X_A$$

$$\text{グループ B : } P_B = 100 - X_B$$

であるとする。ここで P_i はグループ i に関する市場価格、 X_i はグループ i に関する需要量である ($i = A, B$)。また、独占企業の限界費用は 40 で一定であり、固定費用はゼロであるとする。次の **問 1** ~ **問 5** に答えなさい。

問 1 独占企業がグループ A とグループ B を区別する手段を持っており、それぞれのグループの消費者に対して異なる価格を設定する価格差別が可能であるとする。このとき、利潤の合計を最大にする各グループでの市場均衡 (P_A^*, X_A^*) , (P_B^*, X_B^*) を求めなさい。

問 2 **問 1** とは異なり、独占企業にはグループを区別する手段がなく、価格に差をつけると転売が発生するため、2つのグループに対して価格差別が不可能であるとする。このとき、利潤の合計を最大にする価格 P^{**} と、それぞれの市場における需要量 (X_A^{**}, X_B^{**}) を求めなさい。

問 3 **問 2** で求めた各グループの市場均衡における需要の価格弾力性の絶対値を、それぞれ求めなさい(整数または分数で答えること。)

問 4 企業が市場価格を引き上げたときの総収入の変化について、需要の価格弾力性の絶対値の大きさに留意しながら説明しなさい。

問 5 **問 1** と **問 2** の結果を比較し、価格差別が不可能になることによる企業の利潤への影響を説明しなさい。

令和 7 年論文式経済学

令和7年論文式経済学

(経 済 学)

(満点 100 点) { 第1問とあわせ
時 間 2時間 }

第 2 問 (50 点)

問題 1 次の(ア)～(カ)に当てはまる最も適切な語句を答えなさい。

- (1) 我が国の「労働力調査」では、ILO(国際労働機関)基準に準拠して15歳以上人口を(ア)と(イ)に区分し、さらに(ア)を就業者と(ウ)に区分する。15歳以上人口に占める(ア)の割合を(エ)という。
- (2) 金利がゼロ又はそれに近い水準に達しており、中央銀行がいくら貨幣供給量を増やしても、それが総需要の拡大につながらない状況を(オ)という。この現象では、(カ)政策による景気刺激効果がほぼ失われる。

問題 2 次の(1)及び(2)の文章が正しいかどうかを判断し、正しければ答案用紙にある「正」を丸で囲み、誤りであれば「誤」を丸で囲んだ上で、誤っている理由を簡潔に答えなさい。

- (1) インフレギャップが発生する場合、中央銀行は通常、政策金利を引き下げることによって総需要を抑制し、経済の過熱を防ぐ。一方、デフレギャップが発生した場合には、中央銀行は政策金利を引き上げ、総需要を刺激することで物価の安定を図る。
- (2) ある国の居住者又は法人が外国で企業買収や子会社設立のための投資を実行することを対外証券投資という。

令和 7 年論文式経済学

令和7年論文式経済学

問題 3 次の 問 1 ～ 問 3 に答えなさい。

問 1 ある国の 2020 年を基準とした実質 GDP と GDP デフレーターが次の表のように与えられているとする。このとき、名目 GDP は 2021 年から 2022 年にかけて何% 増加したか答えなさい。計算結果に端数が生じる場合、小数点第 2 位を四捨五入すること。

	実質 GDP	GDP デフレーター
2020 年	550	100
2021 年	560	102
2022 年	587.5	105

問 2 ある経済において、家計の消費関数が次のように与えられているとする。

$$C = 50 + 0.8(Y - T)$$

ここで、 C は消費、 Y は国民所得、 T は租税(税金)である。政府支出 G は 100、投資支出 I は 80、純輸出 NX は 0 とする。租税は一律で 50 と与えられている。このとき、均衡国民所得はいくらになるか答えなさい。

問 3 ある企業の株式の時価総額が 10 億円、負債の時価総額が 5 億円であるとする。この企業の資本ストックの再取得費用(再調達価格)が 5 億円であった場合の、トービンの(平均) q を求めなさい。

令和 7 年論文式経済学

令和7年論文式経済学

問題 4 政府が存在する2期間モデルにおいて、家計の効用と予算制約がそれぞれ次のように与えられているとする。

$$U = C_1 C_2^\beta$$

$$(1 + \tau)C_1 + \left(\frac{1 + \tau}{1 + r}\right)C_2 = A$$

C_1 , C_2 はそれぞれ第1期, 第2期の家計消費, A は家計が第1期期首に保有する資産であり, $A = 735$ とする。 β は割引因子, r は利率, τ は消費税率である。

次の **問 1** 及び **問 2** に答えなさい。

問 1 政府は第1期期首に資産を保有せず, 第1期に75, 第2期に76.5だけ消費するとする。政府の予算制約を C_1 , C_2 , r , τ を用いて等式で表しなさい。

問 2 $\beta = 0.96$, $r = 0.0625$ とする。家計が効用を最大にするように消費するとき, 政府の予算制約を満たす消費税率 τ を求めなさい。

問題 5 ある国の経済はソロー成長モデルに従っており, 次のデータが与えられている。

生産関数はコブ・ダグラス型 ($Y_t = K_t^\alpha L_t^{1-\alpha}$) である。ここで Y_t は t 期の生産量, K_t は資本ストック, L_t は労働力人口である。資本の所得分配率 α は0.5, 貯蓄率20%, 人口成長率10%, 資本減耗率10%, 現在の1人当たり資本ストック $K/L (= k)$ は4, 生産量 Y は100である。

次の **問 1** ~ **問 3** に答えなさい。

問 1 現在の労働力人口 L を求めなさい。

問 2 定常状態における1人当たり資本ストック k^* を求めなさい。

問 3 定常状態における1人当たり消費を最大にする貯蓄率はいくらか。解答に至るまでの考え方についても示しなさい。

令和 7 年論文式経済学

問題 6 IS 曲線が

$$x_t = -2(i_t - \pi_t)$$

短期のフィリップス曲線が

$$\pi_t = \pi_t^e + \frac{1}{3}x_t$$

で与えられる経済を考える。ただし、 $t = 0, 1, 2, \dots$ とする。ここで、 π_t は t 期のインフレ率、 x_t は GDP ギャップ、 π_t^e は期待インフレ率、 i_t は名目利子率である。

次の 問 1 ～ 問 3 に答えなさい。

問 1 期待インフレ率 π_t^e がそれぞれ前期のインフレ率に等しいとする。中央銀行が金融政策ルール

$$i_t = \frac{3}{2}\pi_t$$

に従って名目利子率を決定するとき、第 1 期～第 3 期までのインフレ率 π_1, π_2, π_3 を求めなさい。ただし、 $\pi_0 = 8$ とする。

問 2 問 1 の場合において、定常状態でのインフレ率 π^* 及び GDP ギャップ x^* を求めなさい。

問 3 中央銀行の t 期の損失関数が

$$\pi_t^2 + \frac{1}{6}x_t^2$$

で与えられているとする。中央銀行がこの損失関数を最小にするように利子率 i_t を決定するとき、その利子率 i_t 並びにインフレ率 π_t 及び GDP ギャップ x_t を期待インフレ率 π_t^e を用いて表しなさい。

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学

令和 7 年論文式経済学